

会よりのお知らせ

○平成3年度総会

平成3年度総会は平成3年3月29日(金)に神奈川県平塚の東海大学湘南校舎において開催されました。幹事長挨拶に続き、下記の平成2年度事業報告、平成3年度事業計画、平成2年度決算報告および平成3年度予算案が提出され、承認されました。また、引き続いて同会場で、平成2年度光学論文賞授賞式が行われ、魚見和久氏(株)日立製作所、中村 収氏(計量研究所)が受賞されました。また、同氏による光学論文賞受賞記念講演が行われました。

○平成2年度事業報告

平成2年1月1日～平成2年12月31日

1. 会誌

「光学」(KOGAKU, Japanese Journal of Optics)
Vol. 19, No. 1～12 (総ページ数 855)

2. 講演会, 講習会

参加者数

第16回冬期講習会「半導体レーザーの現状と新しい展開」
1月18～29日 151名

第23回光学五学会関西支部連合講演会「生体と光技術」
1月19日 63名

平成元年度日本光学会北海道講演会 1月26日 60名

平成2年度日本光学会春季講演会 3月27日 24名

第15回光学シンポジウム「最近の光学設計を中心として」
6月22日 225名

第27回サマーセミナー「レーザー30年, ファイバー20年」
8月30日～9月1日 66名

平成2年度光学関西講演会 10月23日 36名

第7回色彩工学コンファレンス
10月30～31日 303名

第21回画像工学コンファレンス
12月11～13日 600名

平成2年度日本光学会名古屋講演会
12月14日 64名

3. 見学会

北海道大学工学部 大塚研究室(北海道講演会と併催)

理化学研究所(春季講演会と併催)

東邦ガス総合技術研究所 ガスエネルギー館(名古屋講演会と併催)

松下電器産業 技術館(関西講演会と併催)

4. 研究グループ

視覚, ホログラフィック・ディスプレイ, 微小光学,
光コンピュータ

5. 幹事会, 委員会

幹事会 3回

常任幹事会 4回

編集委員会 9回

文献抄録委員会 6回

文献抄録委員会関西 3回

6. 会員数(平成2年12月31日現在, ()内は昨年度)

A会員 748名(725名)

B会員 1,165名(1,072名)

特別会員 133名(121名)

計 2,046名(1,918名)

賛助会員 87社151口(86社151口)

○平成3年度事業計画

平成3年1月1日～12月31日

1. 会誌

「光学」(KOGAKU, Japanese Journal of Optics)
Vol. 20, No. 1～12

2. 講演会, 講習会

参加者数

第17回冬期講習会「レーザー光の波長変換—基礎と最近の新展開」
1月16～17日 118名

第24回光学五学会関西支部連合講演会「今日の色彩—心理から最新技術まで—」
2月1日 123名

平成2年度日本光学会北海道講演会 2月1日 84名

平成3年度日本光学会春季講演会 4月15日

第16回光学シンポジウム 6月20～21日

第28回サマーセミナー 8月21～23日

平成3年度光学関西講演会 10月12日

第8回色彩工学コンファレンス
11月18～19日

平成3年度日本光学会名古屋講演会

第22回画像工学コンファレンス

12月10～12日

3. 見学会

東京工業大学研究室(春季講演会と併催)

4. 研究グループ

視覚, ホログラフィック・ディスプレイ, 微小光学,
光コンピュータ

5. 幹事会, 委員会

幹事会 3回

常任幹事会 4回
 編集委員会 6回 (+ 2回)
 文献抄録委員会 6回
 文献抄録委員会関西 3回

○平成2年度会計決算報告

平成2年1月1日～12月31日

大 科 目	中 科 目	予 算 (千円)	実績額(円)	内 容 (金額記入)
(収入の部)				
会 費 収 入		11,855	11,632,535	
	会 費 収 入	11,855	11,632,535	未収金 327,500
事 業 収 入		12,290	13,275,254	
	講 習 会 収 入	5,900	6,054,500	サマー 2,158,500, 冬期 3,896,000
	研 究 会 収 入	290	392,000	光学シンポジウム
	別 刷 代 収 入	1,600	1,670,500	
	広 告 料 収 入	4,500	5,158,254	
雑 収 入		1,100	743,789	
	雑 収 入	1,100	743,789	バックナンバー等 352,952, 受取利息 390,837
その他の収入		1,300		
繰入金収入		9,454	9,144,507	
	回収不能引当金戻入		204,507	
	分科会賛助会費還元金	4,768	4,256,000	40×80%×133口数
	分科会給与補助	4,686	4,684,000	学会担当者分
当期収入合計		35,999	34,796,085	
前期繰越収支差額		10,500	10,286,900	
収入合計		46,499	45,082,985	
(支出の部)				
講習会事業費		5,660	4,669,760	サマーセミナー 2,278,061/ 冬期 1,981,701/光学シンポ 409,998
	臨時雇賃金	135	103,000	アルバイト手当 0/88,000/15,000
	印刷製本費	2,170	1,828,843	869,499/872,094/87,250
	諸経費	3,355	2,737,917	旅費交通費 559,500/182,880/49,500, 貸借料 100,000/51,500/35,000, 雑費 2,575/1,648/927 会議費 57,229/21,713/66,956, 通信運搬費 113,451/81,253/1,030 諸謝金 567,777/492,222/154,109, 消耗品費 8,030/391/226
会誌出版事業費		20,600	22,648,754	
	印刷製本費	14,350	16,293,517	会誌 16,293,517
	通信運搬費	2,160	2,278,703	発送通信費 2,278,703
	諸経費	4,090	4,076,534	旅費交通費 1,502,100, 貸借料 24,720, 雑費 45,217, 会議費 194,189, 通信運搬費 360,758, 編集業務委託費 1,236,000, 諸謝金 713,550, 消耗品費 0
その他事業費	補助費	2,520	742,008	研究グループ 311,000, 名簿作成費 431,008

管 理 費 (含 幹 事 会)		7,590	6,776,650	
	給 料 手 当	4,691	4,684,000	学会担当負担分 4,684,000, アルバイト手当 0
	印 刷 製 本 費	480	71,824	印刷製本費 71,824
	諸 経 費	2,084	1,676,037	旅費交通費 1,128,560, 雑費 112,212, 会議費 141,856, 通信運搬費 197,670, 振替手数料 8,570, 諸謝金 0, 消耗品費 8,369, 消費税 78,800
	賃 貸 料	35	50,039	
	回 収 不 能 引 当 金	300	294,750	
繰 入 金 支 出	学 会 事 務 費	1,780	2,027,045	事務手数料 2,027,045
予 備 費		0		
当 期 支 出 合 計		38,150	36,864,217	
当 期 収 支 差 額		-2,151	-2,068,132	=当期収入合計-当期支出合計
次 期 繰 越 収 支 差 額		8,319	8,218,768	=当期繰越収支差額+当期収支差額

保有備品：スライドプロジェクター 2台、テープレコーダー 1台、書棚 1架、ベル 1個
スクリーン 1台、ワイヤレスマイク 1本、賞状盆 1枚

○平成3年度会計予算

平成3年1月1日～12月31日

大 科 目	中 科 目	予 算 (千円)	内 容 (金額記入)
(収入の部)			
会 費 収 入		12,313	
	会 費 収 入	12,313	A会員 747名×6千円, B会員 1,157名×6千円 特別会員 127名×7千円
事 業 収 入		5,840	
	講 習 会 収 入	5,500	サマーセミナー 2,800, 冬期講習会 2,700
	研 究 会 収 入	340	光学シンポジウム
会 誌 出 版 事 業 収 入		7,400	
	別 刷 代 収 入	1,900	
	広 告 料 収 入	5,500	
雑 収 入		1,088	
	雑 収 入	600	バックナンバー 600, 資料コピー代
	受 取 利 息	488	受取利息
そ の 他 の 収 入		500	
	名 簿 代 収 入	500	名簿広告料 500, 名簿徴収料 0 (0×2,200名)
繰 入 金 収 入		9,470	(他会計よりの受入金)
	分 科 会 賛 助 会 費 還 元 金	4,768	40×80%×149口数
	分 科 会 給 与 補 助	4,702	学会担当者分
当 期 収 入 合 計		36,611	
前 期 繰 越 収 支 差 額		10,300	

収入合計		46,911	
(支出の部)			
講習会事業費		5,645	冬期 2,500/サマーセミナー 2,790/光学シンポ 355
	臨時雇賃金	165	アルバイト手当 90/60/15
	印刷製本費	1,940	1,140/700/100
	諸経費	3,540	旅費交通費 360/1,000/40, 貸借料 240/100/0, 雑費 10/100/10 会議費 210/210/70, 通信運搬費 30/60/0 諸謝金 420/540/120, 消耗品費 0/20/0
会誌出版事業費		22,830	
	臨時雇賃金	0	アルバイト手当
	印刷製本費	16,000	会誌 16,000
	発送通信費	2,400	発送通信費 2,400
	諸経費	4,430	旅費交通費 1,700, 貸借料 100, 雑費 50, 会議費 240, 通信運搬費 320, 編集委託費(編集手当) 1,200, 諸謝金 700, 消耗品費 120
その他事業費		2,520	
	補助費	520	研究グループ 410(100×4+10), 論文賞費 110
	名簿作成費	2,000	
管理費 (含幹事会)		7,458	
	貸料	35	
	給料手当	4,702	学会担当負担分
	印刷製本費	500	諸印刷費 480, 資料コピー代 20
	諸経費	1,921	旅費交通費 1,200, 消費税 86, 雑費 200, 会議費 200, 通信運搬費 200, 臨時雇賃金 5, 諸謝金 0, 消耗品費 10, 振替手数料 20
	回収不能引当金	300	
繰入金支出		1,778	(他会計への支出額)
	学会事務費	1,708	事務手数料 1,015, 配布誌実費(賛助会員分) 693
		70	講習会手数料 70
予備費		0	
当期支出合計		40,231	
当期収支差額		Δ3,620	
次期繰越収支差額		6,680	

○第134回幹事会

平成3年3月22日(金)に東京、麴町の日本写真機光学機器検査協会において開催され、庶務、会計、「光学」の編集、講演会・講習会の計画、平成3年度の総会提出議案、平成3年度スケジュール、光学連合シンポジウムなどについて報告と審議が行われました。

○平成2年度第8回編集委員会

平成2年3月15日(金)に東京、本郷の三田出版会ミ

タホールにおいて開催され、「光学」各号の編集状況と企画について報告と審議が行われました。

○第16回光学シンポジウムのお知らせ

平成3年6月20日(木)～21日(金)に東京、六本木の東京大学生産技術研究所において、「光学系の設計、素材、製作、評価を中心にして」をテーマに光学シンポジウムが開催されます。詳細は本号323ページ掲載の案内をご覧ください。

○第28回サマーセミナーのお知らせ

平成3年8月21日(水)~23日(金)に長野県下諏訪町の山王閣において、「光極限技術」をテーマにサマーセミナーが開催されます。詳細は本号325ページに掲載の案内をご覧ください。参加ご希望の方はお早めにお申込みください。定員は100名(先着順)で、申込み締切は7月26日(金)です。

○ホログラフィック・ディスプレイ研究グループよりのお知らせ

・平成2年度第3回ホログラフィック・ディスプレイ研究グループ例会の報告

1990年11月30日(金)名古屋造形芸術大学の講義室において、約60名の参加で開催されました。当日は、季節外れの台風のため大学が休校になるほどの悪天候でしたが、熱心な研究発表と討論が行われました。演題は「医用画像表示用ホログラム自動作製装置」(斉藤隆行, 富士写真光機), 「ホログラムの共役再生による3次元造形」(八木竜之介, 愛知工業大学), 「ワンビームカラーホログラム」(藤田達也, 日本電装)の3件でした。会場では(株)ホロテックとイルフォードアニテックス(株)によるホログラフィ用品/作品の展示が行われました。研究室では、多数のホログラム撮影用除振台がコンパクトに配列されている様子を見学し、また、ホログラムの展示スペースもきちんと確保されていることに感心しました。企画・運営にあられた皆様と、会場をご提供いただいた名古屋造形美術大学の皆様に感謝いたします。

(キヤノン 桑山哲郎)

・平成2年度第4回ホログラフィック・ディスプレイ研究グループ例会の報告

平成2年度第4回例会は平成2年3月8日(金)午後2時から千葉大学・西千葉キャンパス・松韻会館で行われました。演題は「大型ホログラム用高感度フォトポリマー」(石川俊治, 大日本印刷), 「グレーティングイメージによる3次元像の表示」(高橋進, 凸版印刷), 「空間光変調器を用いた実時間ホログラム記録・再生」(黒川隆志, NTT), 「液晶を用いたホログラム」(岡田孝常, トキメック)の4件でした。当日は91名の参加があり、また、MITのS.A. Benton氏も来日の日程をはやめて駆けつけて熱心な討論がありました。なお、当日は平成2年度の最後の研究会になりましたので、懇親会を行い、また、例年どおりミニ展示会を開催しました。

(千葉大 大沼一彦)

・平成3年度第1回例会の予定

「3次元映像のフォーラム」との共催で、下記の要領で例会を開催いたします。

日時: 1991年6月22日(土) 9:30~17:30

場所: 東京大学生産技術研究所第1会議室

東京都港区六本木 7-22-1

電話 03-3402-6231

営団地下鉄千代田線乃木坂駅下車4分、営団地下鉄日比谷線六本木駅下車7分

演題: 9:30~14:00

3次元映像のフォーラム研究会

・ステレオ写真入門(ワークショップを実施して) 島和也ほか3Dフォーラム会員の発表

14:00~17:30

ホログラフィック・ディスプレイ研究グループ例会

1. ホログラフィック・ディスプレイ研究の現状と将来 本田捷夫(東京工業大学)

2. ホログラフィ・アートにおける表現手法 岸本康(凸版印刷)

3. 世界のホログラファーたち 小寺光男(童夢寿)

4. ホログラムの作品・商品・コレクションの展示会

*展示会終了後、懇親会を開催いたします。

参加費: 無料

参加申込: 不要, 当日受付

問合せ先: 〒260 千葉市弥生町 1-33

千葉大学工学部情報工学科 大沼一彦

電話 0472-51-1111 内線 2962

3次元映像のフォーラム連絡先:

日本学会事務センター3Dフォーラム係

〒113 東京都文京区弥生 2-4-16

電話 03-3817-5801

○光コンピュータ研究グループよりのお知らせ

・第42回光コンピュータ研究会の報告

1991年2月1日(金)東京大学生産技術研究所において約22名の参加を得て行われました。話題は、「高分子材料の非線形光学と応用」(出光興産中研・川辺豊), 「ブラインド・デコンボリューション; インペリアルカレッジとDaintyのグループの紹介を交えて」(早稲田大・小松進一)でした。(東大生研 伊藤雅英)

・第44回光コンピュータ研究会の予定
 日時：1991年6月7日(金) 14:00~17:00
 場所：早稲田大学理工学部 51号館
 〒169 東京都新宿区大久保 3-4-1
 電話 03-3203-4141
 演題：1) フォトリフレクティブ結晶導波路
 (PCW) とその応用
 北山研一 (NTT 電送システム研究所)
 2) 多重スリットを用いたデジタルX線像
 撮影法
 久米祐一郎 (SRI インターナショナル)

参加費：無料

申込方法：当日、会場にて受け付けます。

問合せ先：〒113 東京都文京区弥生 2-4-16
 (財)日本学会事務センター
 光コンピュータ研究グループ事務局
 服部元紀
 電話 03-3817-5801
 研究会については、
 帝京大学理工学部 間多 均
 電話 0286-27-7162

なお、本研究会は、電子情報通信学会光コンピューティング時限研究専門委員会第4回研究会と共催です。

○第8回色彩工学コンファレンス論文募集のお知らせ

1991年11月18日(月)~19日(火)に東京、竹橋の科学技術館・サイエンスホールにおいて開催予定の第8回色彩工学コンファレンス(第37回光学四学会連合講演会)の論文を募集いたします。本号巻末綴込みの論文募集をご覧の上、お早めにお申込みください。なお、応募締切は7月18日(木)です。

○第22回画像工学コンファレンス論文募集のお知らせ

1991年12月10日(火)~12日(木)に東京、芝公園のABC会館ホールにおいて開催予定の第22回画像工学コンファレンスの論文を募集いたします。本号巻末綴込みの論文募集をご覧の上、お早めにお申込みください。なお、応募締切は7月5日(金)です。

○関連講演会のお知らせ

・第7回光波センシング技術研究会講演会 1991年
 先端光デバイスとセンシング応用

主催：応用物理学会・光波センシング技術研究会
 協賛：応用物理学会・日本光学会、ほか
 日時：1991年5月23日(木) 9:30~17:00
 24日(金) 9:30~17:00

第1日目講演終了後に懇親会

会場：幕張メッセ・国際会議場3階301号室
 (千葉市) 電話 0472-96-0001
 海浜幕張駅から歩道橋を渡りメッセ地区最初の建物

参加費： 予約申込 5/16日以降申込 懇親会
 一般 10,000円 12,000円 5,000円
 学生 3,000円 3,000円 5,000円
 論文集を含みます

申込み：申込書に必要事項を記入の上、下記事務局までお送りください。FAXも可。

定員：200名(先着順) *論文集に余裕のある場合に限り当日申込みも受け付けます。

申込み先：〒105 東京都港区浜松町 2-12-14
 第2日化ビル 連企画気付
 「光波センシング技術研究会」事務局
 電話 03-3433-2543 FAX 03-3433-2544

送金先：第一勧業銀行・浜松町支店
 普通預金 048-1436419

口座名『光波センシング技術研究会』
 郵便振替口座：東京 9-542750
 口座名『光波センシング技術研究会』

プログラム：

第1日 5月23日(木) 9:30~17:00
 9:30~9:45 イントロダクトリートーク
 山口一郎(理化学研究所)
 9:45~10:25 ラミポールとその光応用部品(招待講演)

片岡春樹(住友セメント)

コーヒーブレイク 15分

10:40~11:05 偏波干渉・光ファイバコイル変位センサ

大塚喜弘・西 康彦・田中 哲(北海道大学)

11:05~11:30 臨界角焦点エラーセンサーによる光熱振動変位の検出

°佐藤栄一(オリンパス光学), 中島俊典・山口一郎(理化学研究所)

11:30~11:55 フォトサーマル振動を利用した中真空用光学式圧力センサ

°稲葉成基(岐阜工業高等専門学校),
羽根一博(名古屋大学)

昼休み 1時間45分

13:40~14:20 光計測分野における LiNbO₃ 導波形
デバイス(招待講演)

春名正光(大阪大学)

14:20~14:45 導波路型光変調器を用いた測距の基礎
実験

°吉田 久(ニコン), 藤間一郎・松
本弘一・大石忠尚(計量研究所)

14:45~15:10 Ti:LiNbO₃ 導波路型光変調器を用いた
低周波用電界強度センサー

°市川 正・伊藤 博・加藤 覚・
松田守弘・高橋信明(豊田中央研究
所)

コーヒーブレイク 15分

15:25~16:05 液晶空間光変調素子(招待講演)

滝次國治(NHK)

16:05~16:30 スペックルパターン計測への液晶 TV
の応用

°荻原昭文・酒井宏明・大久保和展・
大坪順次(静岡大学)

16:30~16:55 単純パターンを用いた図形認識の基礎
研究

°亀丸俊一・矢野潤一・伊藤晴康(茨
城大学)

17:00~18:30 懇親会

第2日 5月24日(金) 9:30~17:00

9:30~10:10 バクテリオロドプシンを用いた位相共
役光学(招待講演)

岡田佳子・山口一郎(理化学研究所)

10:10~10:35 能動干渉計における光双安定とカオス

°劉 雲・大坪順次(静岡大学)

コーヒーブレイク 15分

10:50~11:15 位相シフト法による半導体レーザー・
ファイバー干渉法とその誤差解析

°石井行弘・陳 軍・小野寺理文
(職業訓練大学校), 江原克典・中村
泰三(ミットヨ)

11:15~11:40 統計的干渉計測法

°門野博史・豊岡 了(埼玉大学)

昼休み 1時間40分(常任幹事会開催)

13:20~14:00 石英系プレーナ光波回路(PLC)ーリ
ング共振器ー(招待講演)

大森保治(NTT)

14:00~14:25 光ファイバ回転センサにおける AM
雑音の除去

°根岸英彦・武内喜則・竹居優子・
本庄谷義彦(松下技研)

14:25~14:50 Er³⁺ ドープファイバを光源として用
いたオールファイバジャイロ

山崎成史・鈴木文生・和田 朗・山
内良三(藤倉電線)

14:50~15:15 シュタルク効果を用いた3次元電界分
布計測の基礎研究

横田正幸・°高橋佳孝・芳野俊彦(群
馬大学), 黒澤 潔・渡辺 渡・牧
正一(東京電力)

コーヒーブレイク 15分

15:30~16:10 狭スペクトル線幅 DFB レーザ(招待
講演)

岡井 誠(日立製作所)

16:10~16:35 半導体レーザと光ファイバーを用いた
メタンとアセチレンの同時遠隔検出

°山本和成・田井秀男(東京ガス),
内田昌彦・大澤 晋(日立電線), 上
原喜代治(慶応義塾大学)

16:35~17:00 油吸収材コート偏心コア光ファイバを
用いた分布型漏油検知センサ

岩倉久純・°吉川 浩・大野 豊・村
松岳彦・佐谷燎一(日本大学)

第16回光学シンポジウム

「光学系の設計、素材、製作、評価を中心にして」

光学シンポジウムは日本光学学会会員の皆様が日頃の研究、開発成果を発表し討論する場として、毎年6月に開かれてまいりました。本年は光学懇親会から日本光学学会に名称変更され、3回目の開催になりますが、独自の活動を広げていこうという機運も高まり、例年の倍に勝る多数の講演応募が寄せられ、会期も2日に延長することになりました。多くの方々のご参加と活発なご討議をお願いいたします。

日 時：平成3月6月20日（木）～21日（金） 9：30～17：00

場 所：東京大学生産技術研究所 3階 第1会議室
（東京都港区六本木 7-22-1 電話 03-3402-6231）

営団地下鉄千代田線乃木坂駅下車徒歩4分

営団地下鉄日比谷線六本木駅下車徒歩7分（地図参照）

参加費：一般3,000円，学生1,000円（ともに予稿集代を含む。事前の参加申込は不要）

プログラム：

6月20日（木）

——午前の部——（9：30～11：50）

開会の辞

1. レーザー干渉測長器測長分解能の検証 コニカ(株) 野崎 昭俊, 吉田 尚
2. フォトリフラクティブ結晶を用いた実時間ホログラフィー干渉
東京大学生産技術研究所 伊藤 雅英, 黒田 和男
3. 干渉計による表面形状の絶対測定 (株)トプコン 長浜 博幸
4. オンマシン計測によるダイヤモンドターニング鏡面の形状計測
富山県立大学 野村 俊

昼 食（11：50～13：20）

——午後の部——（13：20～17：00）

5. 10 μ m 帯の赤外光伝送に適した酸化ガラスの設計
東北大学 斉藤 光徳, 永野 信広, 宮城 光信
(株)住田光学ガラス 馬場 信義, 沢登 成人
 6. セルフォックレンズアレイを用いた3次元接続 日本板硝子(株) 浜中賢二郎
 7. レーザーダイオード励起 Nd:YAG レーザーにおける熱収差解析
ソニー(株) 久保田重夫
- 休 憩（14：50～15：10）
8. 歪曲収差と軸外エアリーディスク径 コニカ(株) 宮前 博
 9. 変換ツェルニケ係数法による波面収差解析
旭光学工業(株) 大野 政博, 加瀬 俊之, 小川 良太
 10. 非球面レンズの偏心測定と評価の現状
オリンパス光学工業(株) 小川 治男, 大川 金保, 野澤 龍介, 小林 正敏

6月21日（金）

——午前の部——（9：30～11：50）

1. 8m 望遠鏡の光学設計 国立天文台 成相 恭二, 山下 泰正

2. テレセントリックズームレンズの設計

大日本スクリーン製造(株) 林 尚久, 脇本 善司

3. 20ch レーザー出力光学系の開発

大日本スクリーン製造(株) 岡崎 雅英, 錦織 努

4. 偏心トーリックレンズを用いたレーザー走査光学系の開発

ミノルタカメラ(株) 中村 弘, 濱田 明佳

昼 食 (11: 50~13: 20)

——午後の部—— (13: 20~17: 00)

5. レンズのコスト低減設計

中川レンズデザイン研究所 中川 治平
東海大学 草川 徹

6. 写真レンズの性能テスト

機械技術研究所 深堀 和良, 永寿 伴章
東京大学生産技術研究所 小倉 磐夫

7. ラジアル型 GRIN レンズを用いた光学系の設計

オリンパス光学工業(株) 青木 法彦, 永岡 利之, 樋田 博文

休 憩 (14: 50~15: 10)

8. 一眼レフカメラ用5群ズームレンズの開発

オリンパス光学工業(株) 山梨 隆則

9. 1/3 インチ用非球面ズームレンズ

松下電器産業(株) 伊井 寿幸, 小野 周佑

10. 家庭用投写型 HD ディスプレイ用ハイブリッド投写レンズの設計

(株)日立製作所 平田 浩二

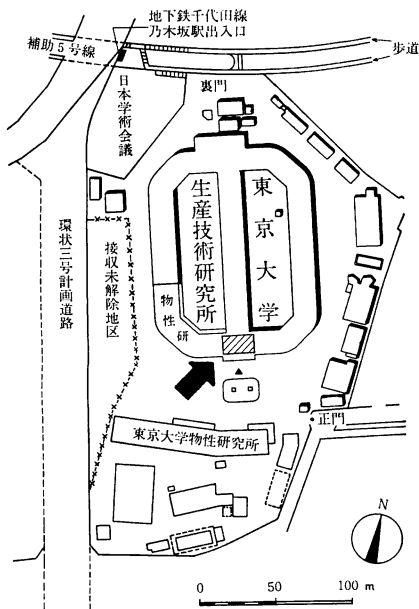
閉会の辞

注: シンポジウム終了後, 懇親会を催しますので, 多数ご出席ください。

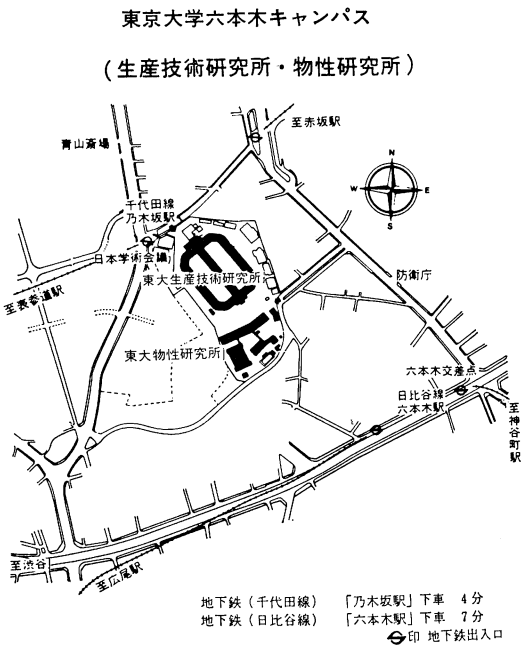
問合せ先: 〒330 埼玉県大宮市植竹町 1-324

富士写真光機(株) 光学研究室 安田 賢司

電話 048-668-2110 (直通) FAX 048-652-6417



東京大学生産技術研究所配置略図



地下鉄(千代田線) [乃木坂駅] 下車 4分
地下鉄(日比谷線) [六本木駅] 下車 7分
印 地下鉄出入口

第 28 回サマーセミナー (1991 年)

『光極限技術』

光通信、光メモリーに代表される光技術は、情報化社会の中で重要な役割を占めています。光はこのような情報の媒体としてだけでなく、次世代の高密度半導体メモリ用の位相シフトマスク技術における光学の回折・干渉の応用や超精密ステッパー技術用の超精密測定や超精密加工技術など、各種産業における測定技術や生産技術においても欠かせないものになっています。こうした光応用技術の進展は目覚ましく、あるものは既に光の回折限界あるいは量子限界まで到達している技術もあります。さらに近年では、このような量子限界の壁を打ち破る概念が提唱されています。

このような背景のもとに、今回のセミナーでは“光極限技術”と題しての光の最先端技術に関する著名な超一流の研究者による講演を企画いたしました。具体的には、第 1 日目の先端光技術の現状と将来への展望について講義していただき、第 2 日目で位相シフトマスク、超精密ステッパー、さらに X 線光学部品と X 線顕微の方法など半導体産業における最新光技術に関するトピックスを取り上げます。また特別講演として量子光学や新技術に関する話題およびこれらの新技術の背景である応用光学、量子光学に関して、基礎までさかのぼった講義をしていただきます。第 3 日目は超精密測定や超精密加工に関連する光技術のトピックスを取り上げます。光が関わる最先端の話題を提供し、将来展望についてもディスカッションしたいと思えます。多数の方々のご参加を歓迎いたします。

主 催：日本光学会 (応用物理学会)

協 賛：精密工学会、光産業技術振興協会、日本オプトメカトロニクス協会

期 日：平成 3 年 8 月 21 日 (水)・22 日 (木)・23 日 (金)

場 所：長野県諏訪郡下諏訪町 山王閣 電話 0266-27-9113 (JR 下諏訪駅より徒歩 10 分)

プログラム：

月日	時刻	話 題 (テーマ)	講 師
8/21 (水)	13: 30~17: 40	<プレナリートーク> (1)光と量子の学問の先端 (2)産業用超微細光技術の先端	東京工業大学 (株)ニコン 伊賀 健一 吉田庄一郎
	18: 30~20: 30	懇親会	
8/22 (木)	8: 30~12: 30	<半導体産業と光極限技術> (1)ステッパーの最新技術 (2)位相シフトマスクの最新技術 (3)X線光学素子とX線顕微法	キャノン(株) 鈴木 章義 (株)日立製作所 福田 宏 筑波大学 青木 貞雄
	特別講演 13: 30~15: 50	『光極限技術応用…最近の話題』 (1)光ソリトン通信 (2)光スクイーミングと量子非破壊計測	NTT 伝送システム研究所 中沢 正隆 NTT 基礎研究所 北川 勝浩
	特別講話 16: 10~17: 40	『応用光学 40 年を顧みて 近未来を占う』	千葉大学 (東大名誉教授) 小倉 馨夫
8/23 (金)	8: 30~12: 00	<微細面形状加工/計測技術> (1)光学部品の超精密加工技術 (2)走査型引力顕微鏡 (AFM) アトミックフォース マイクロスコープ (3)フォトン STM 技術	(株)東芝 上田 勝宣 東京農工大学 梅田 倫弘 東京工業大学 大津 元一

参加費：一 般 ¥33,000

応用物理学会および

協賛学協会会員 ¥31,000

日本光学会会員 ¥30,000

学 生 ¥5,000 (含テキスト代)

申込手続：ハガキで 〒102 東京都千代田区九段北 1-2-6 国松ビル 4 F 応用物理学会内 日本光学会サマーセミナー係宛 (電話 03-3238-1043) お申込みください。ハガキには『応用物理学会 日本光学会サマーセミナー参加申込み書送付希望』と明記し、ハガキ左下に、縦7.5cm、横3cmの線を引き、その中に、〒番号、住所、氏名をご記入ください。氏名には様をつけてください(住所の部分は、そのまま学会からの申込書送付用宛名ラベルに使用いたします)。

申込締切：平成3年7月26日(ただし期限内でも100名に達しましたら締め切ります)

第28回サマーセミナー 参加申込書 送付希望	
3cm	
〒	住所
○○○○様	7.5cm